

総合計画策定審議会専門部会の構成

部会名	委員名	検討分野	
第1専門部会 (都市機能・産業部会)	安達 秀昭	都市計画 住宅・住宅地 交通網(航空・鉄道・ 高速道路) 農林業 工業 商業 観光 労働 産業連携 中心市街地活性 国内・国際交流 その他	(各部会共通項目) 市民協働 地域コミュニティ 自治体経営 広域連携 男女共同参画 その他
	上村 明仁		
	小森 正伸		
	斉藤 允雄		
	進藤 亘子		
	中野 正睦		
	野村 文吾		
	藤田 光輝		
	松田 孝志		
	和田 賢二		
第2専門部会 (安心・安全部会)	阿部 千鶴子	保健・医療 地域福祉 高齢福祉 障害福祉 社会保障 子育て 防災・消防 防犯 消費生活 交通安全 その他	(各部会共通項目) 市民協働 地域コミュニティ 自治体経営 広域連携 男女共同参画 その他
	内田 秀雄		
	門屋 充郎		
	笹川 洋子		
	佐々木市夫		
	真井 徳幸		
	清水マチ子		
	武井 純子		
	羽賀 陽子		
	圓山 嘉都美		
第3専門部会 (生活・環境・教育部会)	朝日 照夫	環境保全 ごみ減量・資源化 景観 生活道路 公園・緑化 上下水道 河川 幼児教育 学校教育 高等教育 生涯学習 文化・スポーツ その他	(各部会共通項目) 市民協働 地域コミュニティ 自治体経営 広域連携 男女共同参画 その他
	梶 伸二		
	合田 倫佳		
	佐藤 淑子		
	杉森 繁樹		
	新妻 宏美		
	古家 智子		
	松崎 拓郎		
	眞鍋 憲太郎		
	本江 憲子		
共通部会	各部会における協議の中で、各部会で共通して協議すべき項目が出てきた場合などに適宜開催。 (構成メンバー：審議会会長、職務代理者、各部会長・副部会長)		

当面の議論の進め方（案）

年度	月	会議名	内 容
平成 20 年	1月	第1回 専門部会 1/24（木） 9：00 ～12：00	・まちづくりの課題と取り組みの基本方向 防災・消防・救急 防犯 交通安全 消費生活
	2月	第2回 専門部会 2/4（月） 18：30 ～21：30	・まちづくりの課題と取り組みの基本方向 保健・医療 社会保障 子育て
		第3回 専門部会 2/14（木） 9：00 ～12：00	・まちづくりの課題と取り組みの基本方向 地域福祉 高齢福祉 障害福祉
		第4回 専門部会 2/27（水） 9：00 ～12：00	・共通項目の総括的な議論 「市民協働」など各部会に共通する項目について検討
	3月 ～4月	審議会また は共通部会	・専門部会の議論経過の確認と中間報告の取りまとめ 方向について
	4月 ～5月	専門部会 （月2～3 回程度）	・論点整理と論点ごとの具体的な議論 これまでの議論内容の整理と今後さらに議論すべき論点の確認 専門部会報告の取りまとめに向け、論点ごとに具体的な議論を進 める ・専門部会報告のとりまとめ
6月	審議会	・中間報告の取りまとめに向けた議論	
			【 中 間 報 告 】

このほか、共通部会・審議会は必要に応じて適宜開催

第2専門部会 議論シート

検討分野	課題	基本的な取り組みの方向
<p>1. 防災・消防・救急</p> <p>(参考：みらい会議報告書等から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えるための情報（食糧備蓄・ハザードマップ）の周知不足 ・災害弱者に対する地域の連携体制不足 ・コミュニティにおける防災意識が低い ・多くの人が参加する防災訓練が十分に行われていない ・「自らの体は自らで守る」という意識が必要 ・自主防災組織づくりとその推進が重要 ・水害などの危険地域の整備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意向調査において、災害に対し市民は重要だと認識しているが、満足できていない部分もある ・ ・地震が起きたとき、2次被害を防止するため避難場所が安全であることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に対して極めて弱い ・避難所として使用される学校の耐震化を進めていくことが重要
<p>2. 防犯</p> <p>(参考：みらい会議報告書等から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅街や公園での夜間の暗がりの解消が必要 ・安全安心な暮らしには、地域内での協力が不可欠 ・不審者情報等の防犯情報の共有が必要 ・「自分の安全は自分で守る」という意識が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
<p>3. 交通安全</p> <p>(参考：みらい会議報告書等から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路上駐車や廃車放置などのモラルが低下 ・自転車・自動車の交通マナーが悪い ・家庭・学校・職場における交通安全教育が不足 ・道路標識の充実が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
<p>4. 消費生活</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪質商法による被害、多重債務などの対応が必要 ・消費生活に関する知識の普及が必要 ・消費者自らが情報収集や学習するなどの消費者の自立支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・